

令和8年
2026年

1月23日
金曜日

第11876号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6カ月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



全肉生連が新年賀詞交歓会を開催……P2

注目のヘッドライン

全肉生連が新年賀詞交歓会を開催

全国食肉生活衛生同業組合連合会（池田清昭会長）は21日、東京都千代田区の都市センターホテルで新年賀詞交歓会を開催した。

…詳細はP2

2026年NHグループ商品・販促説明 会展示会（大阪会場）を開催②

…詳細はP4

- ▶ 全肉生連が新年賀詞交歓会を開催……P2
- ▶ [肉豚出荷予測] 1～3月は1・9%減、6月は10・5%増……P3
- ▶ [牛・豚肉の輸入数量予測] 2月の牛肉は7・3%増、豚肉は10・6%減か……P3
- ▶ 2026年NHグループ商品・販促説明会展示会（大阪会場）を開催②……P4
- ▶ セミナー「世界の豚肉需給を読み解く」（スペイン編）—ALIC……P4～5
- ▶ [肉類通関速報・12月] 計23万9394tで前年比0・4%減……P5
- ▶ [鶏肉輸入予測数量] 2月は計4万9850tで4・5%増……P6
- ▶ ダイショー春夏新製品、暑さを乗り切る夏の新定番、注目は「焼肉一番」から使い切りタイプの専用タレ……P6
- ▶ NTT東日本が横山養豚での豚舎環境モニタリング検証の結果を報告……P6～7
- ▶ [POSランク12月ベーコン製品]「朝のフレッシュ ハーフベーコン」が首位……P7
- ▶ 岐阜県関市で鳥フル、肉用鶏2万羽が殺処分—農水省……P7
- ▶ [輸入牛現物相場] 現地高で仕入れは抑制傾向、2月の相場展開は不透明……P8
- ▶ [プロイラー市中現物相場] 国産生鮮物高値、3連休で物量タイト……P8
- ▶ ベーコン製品12月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 22日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 22日……P11

りんご和牛
信州牛
登録商標 第1394040号

信州プレミアム牛肉
登録商標 第5282895号 第5282894号

信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売

健康と食生活を演出する
ビセラル株式会社

〒123-0865 東京都足立区新田 2-8-12
営業一課 / ☎ (03) 3919-2929 FAX (03) 3919-2930
総務 / ☎ (03) 3919-2980 FAX (03) 3919-2941

<http://www.visceral.co.jp>

全肉生連が新年賀詞交歓会を開催

全国食肉生活衛生同業組合連合会(池田清昭会長=上写真)は21日、東京都千代田区の都市センターホテルで新年賀詞交歓会を開催した。

倉持繁夫副会長の開会の言葉に続き、あいさつした池田会長は「昨年は“二季”と言われるように秋がなく、夏からいきなり冬になった。今年は“あきない”の時代だと密かに期待していたものの、年明け早々からさまざまな問題が起こっており、われわれの業界にとっても非常に悩みの多い年になるかと思う」とした上で、「一方で本日こうして皆さまの健やかな顔を拝見させていただき、心からうれしく思う。本年も関係者の皆さまからのご指導・ごべんたつ、そして会員の皆さまからの変わらぬご協力をお願いしたい」と呼びかけた。

続いて、厚労省健康・生活衛生局生活衛生課の宮腰奏子課長の祝辞を大塚憲孝課長補佐が代読。「物価上昇や人材不足など、生活衛生関係営業を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。厚労省では昨年12月に成立した補正予算を活用しながら、食肉販売業をはじめとした生活衛生関係営業者の皆さまが物価上昇などに機動的に対応できるよう、価格転嫁の円滑化に向けた各連合会の取り組みを支援するとともに、経営課題解決に向けて、中小企業診断士等の専門家による伴走型の相談支援などを進めていく。また、日本政策金融公庫による低利融資や各種税制措置など、業界振興や収益力向上等の支援にも引き続き取り組んでいく」とした。

続いて一般(社)全国生活衛生同業組合中央会の長坂伸司事務局次長が「海外からのお客さまも過去最高となり、生活衛生業への売り上げにも好条件となりつつあるが、物価高騰などにより多くの生活衛生業者は今なお厳しい状況に置かれている。国民の日常生活に密着した生活衛生業が衛生水準の維持・向上を図りながら、経営基盤を強化し発展していくためには個々の営業努力も必要であるが、さまざまな取り組みを支援していく体制の整備が必要であり、中央会としては16業種のご縁を大切に全国連合会が一致団結して、組織強化や活性化を推進し各施策の拡



充に努めていく」と述べた。

さらに公益(社)日本食肉協議会の本川一善会長が「昨年の食肉をめぐる情勢はあまり芳しくなかったと感じる。インバウンドや牛肉輸出が過去最高を記録したというような動きもあったが、なかなか末端まで及んでくることはなかった。一方で国も一昨年50億円、昨年170億円の和牛消費拡大予算を措置しており、これが年末になってようやく効果を上げてきたと感じる。今年も同じく170億円が措置され、販売促進、消費拡大にも使える予算がついている。こうしたものを皆さまと一緒に活用し、今年こそは良い年になるように取り組んでいきたい」とした。

続いて全国食肉事業協同組合連合会の木村元治専務理事が乾杯の音頭を取り、懇親となった。宴たけなわで松岡謙副会長による中締めで散会となった。

【肉豚出荷予測】 1～3月は1・9%減、6月は10・5%増

農水省食肉鶏卵課は21日、令和7年12月から令和8年6月までの肉豚出荷予測を公表した。

12月は147万5千頭(前年同月比0・8%増)で平年を下回る見通し。10～12月は432万4千頭(前年同期比0・2%減)で平年を下回る見通し。

1月は133万7千頭(4・8%減)で平年を下回る見通し。2月は124万頭(3・9%減)で平年を下回る見通し。3月は139万5千頭(3・1%増)で平年を下回る見通し。1～3月は397万2千頭(1・9%減)で平年を下回る見通し。4月は139万1千頭(1・1%増)で平年並みの見通し。5月は118万5千頭(8・6%減)で平年を下回る見通し、6月は136万頭(10・5%増)で平年を上回る見通しと予測している。

[肉豚出荷動向予測]

年・月	出荷・千頭	前年比%	1日あたり	価格
令和6年10	1,458	101.5	62,710	620
11	1,410	95.1	69,630	571
12	1,464	100.1	65,798	638
10～12月計	4,332	99.0		—
令和7年1	1,404	99.3	66,071	598
2	1,290	93.8	70,685	617
3	1,353	98.7	66,815	615
1～3月計	4,047	97.3		—
4	1,376	97.7	64,753	599
5	1,297	95.4	64,049	661
6	1,231	103.2	57,935	795
4～6月計	3,904	98.0		—
7	1,281	97.7	57,588	868
8	1,178	96.4	58,184	670
9	1,314	102.8	64,873	648
7～9月計	3,773	99.0		—
10	1,478	101.4	66,421	558
11	1,371	97.3	71,243	588
*12	1,475	100.8	63,441	—
10～12月計	4,324	99.8		—
令和8年*1	1,337	95.2	62,918	—
*2	1,240	96.1	64,416	—
*3	1,395	103.1	65,647	—
*1～3月計	3,972	98.1		—
*4	1,391	101.1	65,459	—
*5	1,185	91.4	64,932	—
*6	1,360	110.5	61,124	—

* 予想、単位：千頭、前年同月比%。* 1日あたりは本紙試算、価格は東京市場・極上・上規格

【牛・豚肉の輸入数量予測】 2月の牛肉は7・3%増、豚肉は10・6%減か

農畜産業振興機構は21日、国内の主な輸入事業者で構成する牛肉および豚肉輸入動向検討委員会を開き、2025年12月～26年2月の牛肉と豚肉の輸入数量を予測、公表した。

それによると牛肉輸入量は、25年12月は冷蔵品が1万6600t(前年同月比3・9%増)、冷凍品が2万6200t(12・9%増)で、合計4万2800t(9・2%増)になると予測を上方修正した。26年1月は冷蔵品が1万3100t(1・9%減)、冷凍品が2万1900t(14・2%増)で、合計3万5千t(7・6%増)になると予測。2月は冷蔵品が1万2200t(10・4%増)、冷凍品が1万9300t(5・5%増)で、合計3万1500t(7・3%増)を見込む。3カ月を通して冷凍品は前年同月を上回ることから、合計の3カ月平均は3万6400tと前年

同期を8・1%上回ると予測している。

豚肉輸入量は、現地価格の高止まりなどから、25年12月は冷蔵品が3万3500t(3・0%減)、冷凍品が3万5700t(14・9%減)、合計6万9200t(9・6%減)になると予測。26年1月も冷蔵品が3万1800t(0・8%減)、冷凍品が3万5700t(26・3%減)と共に前年割れで、合計6万7500t(16・2%減)にの見込み。2月は冷蔵品が3万1500t(14・1%増)、冷凍品が3万2800t(25・9%減)で、合計6万4300t(10・6%減)になると予測。3カ月を通して冷凍が前年同月を大きく下回ることから、合計の3カ月平均は6万7千tと前年同期を12・2%下回ると予測している。

2026年NHグループ商品・販促説明会展示会(大阪会場)を開催②

(日本ハムが21日に開催した2026年ニッポンハムグループ商品・販促説明記者会見での、高崎賢司執行役員グループ戦略事業部長による展示会内容の説明概要の続き)

展示の概要を説明すると、会場に入ってまず映像紹介と展示ブースによるプロテインバージョン紹介、次に共創ブース、特設ブースと展示が続く。プロテインバージョンについては、映像でサステナブル(リジェネラティブ農業)、アップサイクル(家畜資源から生分解性フィルム)、DX活用(AI活用)、品質(品質保証NEXTステージ、品質保証アドバイザーなど)を説明。これらを通じ、社会課題の解決と新たな価値創造に向けた活動を紹介する。展示ブースでは、新たんぱく(細胞性食品)、アップサイクル(豚の歯、牛の腱から再生医療素材)、おいしさ&ウエルネス(日清食品との共創「完全メシ」)、ヘルスケア(VALXとの共創「高たんぱく商品/鶏米」)といった、プロテインバージョンの新たな取り組みを紹介している。

共創ブースでは、昨年度に業務提携を発表したJA全農、CPフーズとの共創取り組みの状況を紹介。特設ブースではグローバルな商品展開の説明、世界情勢に合わせた商品提案をさせていただいている。

そして、本展示会では商品の試食と合わせて、チャネルごとに商品陳列を設置し、商品の紹介から売り場提案まで一気通貫でご覧いただける。

松本之博常務執行役員加工事業本部長による加工事業本部の展示・提案内容の説明は次の通り。

今回から消費者の食に関するニーズを捉えた五つのキーワードを背景に「加工食品の未来を創る!」をメインテーマとしている。これを実現するために、われわれが今まで培ってきた技術をON/OFFするという考えで食べる喜びを提供する。ONの技術は「足すこ



とで美味しく」、OFFの技術は「引くことで優しく」という考えを商品開発のベースにして進めている。

柱となるハム・ソーセージおよびデリ商品については、①ロングセラーブランドの深化と進化(シャウエッセン/エクステンション強化、中華名菜/ブランドコンセプトの確立、石窯工房/ブランディング強化)②加工肉の新しい選択肢の提案(ロース・ベーコンに変わる新しい選択肢、新たな肉素材の開発で課題解決、こだわりニーズ対応商品)③多様化するニーズへの対応(即食・個食・簡便対応の新シリーズ、肉があれば・・・の新機軸商品、拡大するつまみ需要に対応する常温商品)と具体的なテーマを設定している。

「ロングセラーブランドの深化と進化」では、まずシャウエッセンの圧倒的なブランド力を生かし、コアファン層の獲得、食シーンの拡大、若年ユーザーを狙ったブランドエクステンションの強化に取り組み、これまでに「夜味」などの成功例も出てきた。今展示会ではさらにブランドエクステンションを進め、チーズ増量タイプの「おいちいず」を紹介している。また、ハム・ベーコン売り場でもシャウブランドを展開し、「シャウブロック」や「ベーコンの様に使えるシャウスライス」などの提案をしている。(連載続く)

セミナー「世界の豚肉需給を読み解く」(スペイン編) - ALIC

農畜産業振興機構がこのほど開催したセミナー「世界の豚肉需給を読み解く」で、調査情報部の渡辺淳一氏が「スペイン養豚産業の動向」と題し講演を行った。

スペイン国内のアフリカ豚熱(ASF)発生状況については、昨年11月28日に1994年11月以来31年ぶりに野生猪での発生が確認されており、その後、12月16日までに野生猪で26頭の陽性が確認されている。

今回の感染を受け、発生地点から半径6kmを封鎖区域、半径20kmを監視区域とし、その後の陽性は封鎖区域内にのみとどめている。

スペインの豚肉生産量は、EU全体の約23%を占め、EU第1位を誇る。また、直近10年でEU主要豚肉生産国であるドイツ、デンマーク、イタリアなどは生産量が減少している中、スペインは28・5%の大幅増(2015/24年比)となっており、効率生産や輸出需要の増加が要因として挙げられる。

スペインでは、輸出先の約6割がEU域内向け、3割が中国、日本、韓国、フィリピンなどのアジア向けとなっている。今回のASFを受け、EU向けは監視区域外で生産された豚肉であれば輸出が可能とされ、英国向けも同様である。

一方で、20~21年に輸出が増加した中国においては、ASF発生前にスペインとの間で地域別協定を締結しており、バルセロナ県外であれば、豚肉の輸出が可能だ。

また、韓国は、22年にEUと地域別協定を締結したため、監視区域外であれば輸出が可能である。一方で、日本向けは現在、スペイン産豚肉の輸出は禁止されている。

豚肉需給については、自給率200%超えの輸出大国であるといえる。23年の1人当たりの豚肉消費量は49・6kgで、14年(52・7kg)と比較すると微減となっている。

スペイン養豚の最大の特徴として、民間の飼料会

社などによるインテグレーションの進展が挙げられる。これは、過去の豚肉価格の下落や子豚の輸入依存からの脱却を目的に始まったとされる。スペイン養豚生産者協会(ANPROGAPOR)によると、養豚生産者に占めるインテグレーションの割合は74%(21年)に上るとされ、その割合は増加傾向にある。インテグレーション下においては、インテグレーターと生産者が契約し、インテグレーターは生体豚(子豚など)や飼料、獣医療サービス・医薬品を提供し、生産者は養豚施設と労働力を提供することが一般的となっている。肥育農家の場合、1出荷豚当たりの契約単価に加え、飼料効率、抗菌薬の使用削減、事故率、バイオセキュリティの強化などのパラメーターにより追加報酬を受け取る。

EUで議論が進む家畜輸送と飼養段階でのAW基準の厳格化も、スペインの養豚業界にとっては大きな影響が見込まれる。欧州議会で議論が進む家畜輸送時のAW基準の厳格化は、輸送密度や輸送時間、輸送時の外気温の厳格化により、夏に高温になり広い国土を有するスペインの畜産業界への影響は大きいとされる。

また、欧州委員会は25年6月、家畜の飼養に関するAW関連法令の見直しに向けた意見募集を開始。この見直しは、欧州市民イニシアチブ「ケージ時代の終わり(End the Cage Age)」への対応で、同イニシアチブでは分娩ストールぶんべんの使用を禁止すべきであると提案している。

【肉類通関速報・12月】計23万9394 tで前年比0・4%減

財務省がこのほど公表した2025年12月の貿易統計速報によると、肉類の輸入通関量合計は23万9394t(前年同月比0・4%減)と前年同月を下回った。

米国からの肉類輸入量は4万3651t(5・2%減)と減少し、EUは1万5125t(30・2%減)となった。また、アジアからは7万2326t(11・4%増)と増加し、そのうち中国は2万4188t(18・1%増)、韓国は120t(63・2%減)、ASEANは4万7985t(8・8%増)となった。

肉類通関速報

(単位：トン、%)

	数量	伸び率
米国	43,651	-5.2
EU	15,125	-30.2
アジア	72,326	11.4
中国	24,188	18.1
大韓民国	120	-63.2
ASEAN	47,985	8.8
肉類計	239,394	-0.4

【鶏肉輸入予測数量】2月は計4万9850tで4・5%増

日本食肉輸出入協会は21日、鶏肉輸入動向検討委員会を東京都内で開催し、2025年12月～26年2月の鶏肉輸入数量を予測した。それによると、12月は計4万5710t(前年同月比8・5%減)で、ブラジルが3万200t(12・0%減)、タイが1万5千t(0・7%増)、米国が460t(29・7%減)、その他の国が50t(2・0%減)

1月は計4万6950t(10・2%減)で、ブラジルが3万300t(19・2%減)、タイが1万6千t(13・5%増)、米国が600t(5・7%減)、その他の国が50t(6・4%増)。2月は計4万9850t(4・5%増)で、ブラジルが3万3千t(4・9%増)、タイが1万6千t(3・1%増)、米国が800t(27・0%増)、その他の国が

50t(38・3%減)。

鶏肉の輸入については、ブラジル、タイおよび米国における現地価格の高値傾向に変わりがないが、鶏肉の価格優位性などを背景として、外食や中食などの堅調な国内需要を反映して、順調に推移している。

また、ブラジルおよびタイにおけるワーカー不足が顕在化しており、日本向け掲示価格高騰の一因にもなっている。ブラジルのマット・グロッソ州における高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)続発による調達への影響は、限定的であるもよう。引き続き、円安などの為替動向やHPAIの国内外での発生動向などについても注視していく必要があるとしている。

ダイショー春夏新製品、暑さを乗り切る夏の新定番 注目は「焼肉一番」から使い切りタイプの専用タレ

ダイショー(本社=東京都、松本俊一社長)は2026年春夏新製品を2月1日から順次、全国発売する。

注目は同社ロングセラーの焼き肉のタレ「焼肉一番」シリーズの新製品(使い切りタイプ)。物価高や夏の長期化で消費拡大する「おうち焼き肉」市場に合わせ、さまざまな特長を持つ精肉素材に合わせてタイプの異なる3アイテムをラインアップした。「同 3種の果汁の醤油だれ」(容量80g、税込み希望小売価格129円)は丸大豆しょうゆをベースにりんごやパイナップル、桃のフルーティーな果汁の甘みを効かせ、ごま油で風味良く仕上げた。牛バラや豚ロースといった脂身の多い肉から鶏モモといった淡泊な味わいが特長の肉にも相性が良い。

「同 3種の香味野菜の味噌だれ」(同)は牛ホルモ

ンやラムといった個性派や脂身の多い肉にお勧め。米と豆の2種類のみそをベースに玉ねぎやしょうがなどの3種の香味野菜と赤唐辛子の辛味を効かせ、後味のすっきりとしたみそダレの濃厚さがクセになる。「同



柚子胡椒のさっぱり塩だれ」(同)は天日塩のうまみに香味野菜を加え、柚子こしょう、赤唐辛子、青唐辛子の辛味を効かせた。牛タンや豚バラ、豚トロ、鶏モモ、鶏セセリなどさまざまな素材を香味感のあるさっぱりとした塩ダレで楽しめる。

NTT 東日本が横山養豚での豚舎環境モニタリング検証の結果を報告

NTT東日本(株)は、2024年6月から1年間、(有)横山養豚で豚舎環境のモニタリング検証を実施しており、その結果を報告した。センサーやカメラによる環境デー

タ・活動量の可視化、ダクト・換気ファンによる気流制御などを検証した結果、臭気低減、事故率改善、肉質向上など多方面で効果が確認され、都市型畜産の持

続可能なモデル構築に向けた一歩となった。なお、約1年間にわたり、豚舎環境データを収集・分析する取り組みは、神奈川県内では初となる。

都市型畜産では、臭気対策や、安定した飼育環境の構築による家畜伝染病(豚熱など)の発生防止、飼育頭数増加による業務効率化等、多様な課題を抱えている。これらの課題解決に向け、ICTを活用し、都市型畜産での豚舎における環境対策の検証を実施するに至った。具体的には、豚熱などの家畜伝染病の発生防止に向けた豚体調・環境データの可視化と早期対応の支援、都市型ならではの近隣住民からのクレーム撲滅に向けた臭気コントロールの検証を行うもの。

主な成果としては、一つ目に、ダクト・換気ファン導入後、それまで豚舎の北側と南側で観測されていたアンモニア濃度のバラツキが顕著に縮小した。これは、ダクトによって豚舎全体の換気が促進され、空気が淀みやすい場所がなくなり、濃度が均一化されたことを示している。

二つ目に、CO₂濃度は、特に冬季にかけて上昇傾向がみられた。これはアンモニア濃度と同様に、換気量の低下が影響していると考えられ、豚の健康維持における適切な換気レベルを判断するための重要な指標となり得る。

三つ目に、データ分析の結果、豚舎内は外気温の急激な変化から保護され、比較的安定した温湿度環境が維持されていることが明らかになった。例えば、外気温が30℃を超えた夏場でも豚舎内は25~30℃程度

に、外気が10℃台まで冷え込んだ秋以降も20℃前後が維持されており、豚への環境ストレスが軽減されていることが推察される。

四つ目に、IPカメラの映像を分析したところ、豚は夜間の活動が少なく、日中、特に午後(14~16時頃)に活動のピークを迎える昼行性の傾向が明確に確認された。このような行動パターンの把握は、給餌タイミングの最適化など、より豚の生態に即した飼養管理への応用が期待される。

最後に、ダクト・換気ファン導入後の横浜食肉市場における豚の格付結果を分析したところ、「極上」「上」ランクの中で横山養豚の出荷豚が占める割合が60~70%と高い水準を維持していることが明らかになった。この結果から、安定した飼養環境は、豚のストレスを軽減し、最終製品である豚肉の品質維持・向上にも貢献する可能性が示唆された。

横山養豚の横山清社長は、「今回の実証実験を通じて、豚舎内の環境を“見える化”できたことは非常に大きな成果だと感じている。都市型畜産では、臭気対策や近隣との共生が重要課題だが、ICTを活用することで、これまで感覚に頼っていた管理をデータで裏付けできるようになった。温湿度や換気の改善により、豚のストレスが軽減され、事故率の低下や肉質の向上という結果にもつながったことは、私たちにとって大きな自信だ。今後は、この取り組みをさらに発展させ、地域に愛される養豚業を続けながら、よりおいしい豚肉を安定して提供できるよう努めていきたいと思う」と語った。

【POSランク 12月ベーコン製品】「朝のフレッシュ ハーフベーコン」が首位

(株)KSP-SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した12月POS/ベーコン製品売れ筋ランキングによると、伊藤ハム「朝のフレッシュ ハーフベーコン」(32g×3)が首位だった。

2位は伊藤ハム「朝のフレッシュ ハーフベーコ

ン」(32g×4)、3位は米久「原形ベーコンブロック」(168g)、4位はプリマハム「スマイルUP!ハーフベーコン3連」(31g×3)、5位は丸大食品「いつも新鮮ハーフベーコン」(33g×3)だった。対象店舗1072店舗の総販売金額は3億2217万165円。

岐阜県関市で鳥フル、肉用鶏 2万羽が殺処分—農水省

農水省は22日、岐阜県関市の家禽農場で、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜(今シーズン国内17例目)が確認されたことを発表した。

これを受け、同農場の肉用鶏約2万羽が殺処分となる。

【輸入牛現物相場】 現地高で仕入れは抑制傾向、2月の相場展開は不透明

豪州産チルドは引き続き、低調な荷動きは変わらず。現地相場は高止まりしており、仕入れを抑制しているが、カタ系などは在庫がややタイトになっている。一方で動きが停滞しているバラ系などは膨らみ傾向。米国産チルドも同様に荷動きが悪く、特にチャックアイロールが重い。

フローズンも豪州産、米国産共に動きは弱い。しかし現地価格が高騰して価格がマッチせず、仕入れ量は減少。豪州産ではポイント、ナーベルなどのアイテムが逼迫^{ひっばく}しており、米国産ではショートプレート以外の在庫が少なくなっている。豪州産の逼迫アイテムはメキシコ産の中バラなどを代替提案してきたが、赤身率がやや劣ることや、メキシコ現地が日本向けに積極的ではなく、価格も高いことなどから、取り扱いの拡大には至っていない。

輸入牛はチルドフローズン共に多くのアイテムで値頃感が感じられず、売れ行きが鈍化。2月以降も価格の下げ要素に乏しく、むしろ仕入コストは上昇傾向であり、今後の相場推移は不透明だ。

輸入牛はチルドフローズン共に多くのアイテムで値頃感が感じられず、売れ行きが鈍化。2月以降も価格の下げ要素に乏しく、むしろ仕入コストは上昇傾向であり、今後の相場推移は不透明だ。

【輸入牛肉現物相場】

円/キロ

		グラス	ショートグレイン
豪州産C	トップサイド	1,450 ~ 1,530	1,480 ~ 1,600
	シックフランク	1,400 ~ 1,450	1,450 ~ 1,530
	アウトサイド	1,400 ~ 1,450	1,450 ~ 1,500
	ポイント	1,380 ~ 1,430	1,450 ~ 1,500
	ナーベル	1,150 ~ 1,280	1,200 ~ 1,350
	ランプ	1,650 ~ 1,750	1,750 ~ 1,850
	クロッド	1,350 ~ 1,400	1,400 ~ 1,500
	チャックロール	1,600 ~ 1,650	1,700 ~ 1,800
	チャックテンダー	1,450 ~ 1,500	1,550 ~ 1,650
	キューブロール	3,400 ~ 3,700	3,700 ~ 4,500
豪州産F	ストリップロイン	2,500 ~ 2,650	2,700 ~ 2,800
	テンダーロイン	4,200 ~ 4,500	4,700 ~ 5,000
豪州産	チャック&ブレード	-	-
	ポイント	1,400 ~ 1,500	-
	ナーベル	1,100 ~ 1,220	-
	カウミート	1,250 ~ 1,300	-
F	トップサイド	-	-
	シックフランク	-	-

		チルド	フローズン
米国産	スクウェアカットチャック	-	-
	ショルダークロッド	1,700 ~ 1,800	1,550 ~ 1,650
	ショートプレート	1,200 ~ 1,250	1,080 ~ 1,130
	ボンレスショートリブ(チョイス)	5,850 ~ 6,000	-
	ボンインショートリブ	-	-
	チャックリブ(チョイス)	2,500 ~ 2,850	2,350 ~ 2,450
	ストリップロイン(チョイス)	4,300 ~ 4,800	-
	リブアイロール(リップオン)	5,200 ~ 5,500	-
	テンダーロイン	5,700 ~ 6,000	-
	ステーキレディ	-	-
産	チャックアイロール(チョイス)	2,400 ~ 2,700	2,000 ~ 2,300
	同(プライム)	2,600 ~ 2,900	-

【ブロイラー市中現物相場】 国産生鮮物高値、3連休で物量タイト

◇国産物 生鮮モモは日経荷重の東京相場で830円台、生鮮ムネの動きは530円台と高止まり。成人の日を含めた3連休もあり、工場の稼働減からモモ、ムネ共に物量的にはややタイト感が出た。冷凍物は輸入物高騰からの代替需要の動きは本格化しておらずおおむねもちあ

る、タイ共、2月には昨年並みの輸入量まで回復する見込みだが、需要期の冬季でもあり、先安観は出ていない。

い。
◇輸入物 ブラジル産、タイ産、また、モモ正肉、カット物共、キロ670円前後の高値で張り付いている。ブラジ

ブロイラー現物相場 単位:円/キロ

国産冷凍物	
モモ正肉(産地凍結)	600~650
ムネ正肉(〃)	410~490
手羽モト(〃)	300~350
手羽サキ(〃)	玉なし
砂キモ(〃)	玉なし
ササミ(〃)	380~500

単位:円/キロ

輸入物	
米国産モモ正肉(240gUP)	玉なし
米国産ジャンボレッグ(350gUP)	350中心
米国産BIL	550~570
ブラジル産モモ正肉	660~680
ブラジル産モモ角切り	660~680
ブラジル産皮なしモモ正肉	660中心
ブラジル産グリラー(1000gUP)	430~450
ブラジル産手羽サキ(50gUP)	600中心
タイ産モモ正肉	660~680
タイ産モモ角切り(25~30g)	660~680
米国産モモ串	玉なし

ベーコン製品12月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年12月 対象店舗数:1,072店舗 品目合計:3億2,217万165円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均 価格	金額 シェア	数量 シェア	販売店率
1	伊藤ハム 朝のフレッシュ ハーフベーコン 32g×3	33,001,866	135,172	244.2	10.2	11.6	55.1
2	伊藤ハム 朝のフレッシュ ハーフベーコン 32g×4	25,157,485	86,600	290.5	7.8	7.4	30.7
3	米久 原形ベーコンブロック 168g	21,341,410	68,466	311.7	6.6	5.9	45.1
4	プリマハム スマイルUP!ハーフベーコン3連 31g×3	16,341,527	70,138	233.0	5.1	6.0	44.8
5	丸大食品 いつも新鮮ハーフベーコン 33g×3	15,963,872	75,807	210.6	5.0	6.5	26.8
6	プリマハム スマイルUP!ハーフベーコン 4連 31g×4	14,097,370	50,519	279.1	4.4	4.3	20.2
7	プリマハム 角切りベーコン 180g	12,417,523	32,587	381.1	3.9	2.8	59.3
8	シジシージャパン Vパック ベーコン 119g	8,908,362	31,642	281.5	2.8	2.7	25.4
9	プリマハム 燻しベーコンブロック 160g	7,480,828	22,326	335.1	2.3	1.9	24.6
10	信州ハム グリーンマークハーフベーコン 55g	6,428,958	23,148	277.7	2.0	2.0	60.3
11	イオントップバリュ イオンベストプライス ハーフベーコン 37g×4	6,363,369	22,328	285.0	2.0	1.9	10.0
12	イオントップバリュ イオンベストプライス ブロックベーコン 165g	5,503,710	18,641	295.3	1.7	1.6	9.9
13	丸大食品 いつも新鮮ハーフベーコン 32g×4	5,294,625	18,344	288.6	1.6	1.6	13.1
14	伊藤ハム 朝のフレッシュお料理ベーコン 40g	5,046,927	25,315	199.4	1.6	2.2	39.7
15	丸大食品 たっぷり使えるベーコン切り落とし 180g	4,572,629	13,934	328.2	1.4	1.2	34.1
16	伊藤ハム 燻製ベーコン ブロック 170g	3,603,372	9,829	366.6	1.1	0.8	25.8
17	伊藤ハム NVベーコンスライス 170g	3,155,955	8,989	351.1	1.0	0.8	13.0
18	プリマハム 厚切りベーコン 110g	3,106,751	10,020	310.1	1.0	0.9	33.8
19	プリマハム ベーコンブロック 160g	3,007,279	8,801	341.7	0.9	0.8	11.3
20	日本ハム 彩りキッチンハーフベーコン 33g×3	2,996,997	11,635	257.6	0.9	1.0	6.7
21	鎌倉ハム富岡商会 熟成ベーコン 81g	2,729,437	7,343	371.7	0.9	0.6	14.7
22	プリマハム ぐらし良好 ハーフベーコン4連 35g×4	2,704,993	9,805	275.9	0.8	0.8	5.1
23	日本生活協同組合連合会 ベーコン 81g	2,495,445	10,204	244.6	0.8	0.9	5.9
24	シジシージャパン 断然お得 ハーフベーコン 36g×4	2,373,957	7,702	308.2	0.7	0.7	10.2
25	伊藤ハム 燻工房ベーコン切落し95g	2,245,054	8,436	266.1	0.7	0.7	21.1
26	米久 原形ベーコンブロック 220g	2,242,719	7,562	296.6	0.7	0.7	5.0
27	丸大食品 短冊カット パンチェッタ 65g	2,123,864	7,270	292.1	0.7	0.6	38.1
28	丸大食品 ブロックベーコン 150g	2,064,879	6,066	340.4	0.6	0.5	14.1
29	米久 原形ベーコン切り落とし 500g	1,981,036	4,010	494.0	0.6	0.3	4.8
30	米久 シュリンクベーコン 155g	1,945,926	7,163	271.7	0.6	0.6	10.1
31	米久 原型ベーコンブロック 200g	1,814,848	5,405	335.8	0.6	0.5	3.4
32	丸大食品 お料理ベーコン 132g	1,702,980	5,749	296.2	0.5	0.5	12.5
33	伊藤ハム ベーコンスライス	1,601,704	6,201	258.3	0.5	0.5	2.1
34	フードリエ ブロックベーコン 80g	1,582,174	7,792	203.1	0.5	0.7	20.8
35	日本ハム リッチベーコン3連 49g×3	1,559,420	3,573	436.5	0.5	0.3	16.8
36	信州ハム 軽井沢熟成ベーコン 110g	1,536,660	4,064	378.1	0.5	0.4	8.1
37	プリマハム スライスベーコン 31g×3	1,428,978	6,943	205.8	0.4	0.6	6.1
38	シジシージャパン Vパック厚切りベーコン切り落とし 110g	1,421,615	4,804	295.9	0.4	0.4	17.5
39	銀河フーズ 切落しベーコンカット 400g	1,410,240	2,642	533.8	0.4	0.2	3.5
40	米久 角切りベーコン 135g	1,389,219	4,710	295.0	0.4	0.4	8.8
41	イオントップバリュ イオンベストプライス ベーコン 142g	1,376,588	4,787	287.6	0.4	0.4	7.1
42	デリフレッシュフーズ デリフレッシュフーズ ベーコン スライス 215g	1,321,766	3,338	396.0	0.4	0.3	2.6
43	プリマハム 食彩の一皿 切り落としベーコン 180g	1,263,800	3,462	365.1	0.4	0.3	10.0
44	信州ハム 徳用ベーコン短冊カット 200g	1,259,261	6,063	207.7	0.4	0.5	3.7
45	東北日本ハム みんなの食卓ベーコン 55g	1,232,808	5,497	224.3	0.4	0.5	38.6
46	信州ハム グリーンマーク吊るし燻りベーコン 180g	1,224,787	2,435	503.0	0.4	0.2	9.7
47	伊藤ハム 彩食紀行つるし燻しベーコン 220g	1,223,560	2,116	578.2	0.4	0.2	8.9
48	フードリエ 料理にプラス厚切りベーコン 70g	1,219,955	6,115	199.5	0.4	0.5	16.1
49	伊藤ハム コマベーコン 250g	1,212,094	3,422	354.2	0.4	0.3	6.3
50	米久 味わいベーコン原形 150g	1,201,466	4,381	274.2	0.4	0.4	5.4

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 1月22日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	2,916	2,346	2,214	-	-
		安値	2,163	2,065	2,159	-	-
		平均	2,473	2,201	2,182	2,028	-
	66頭	頭数	46	15	4	1	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	1,927	-	-	-
	1頭	頭数	-	1	-	-	-
	去 A	高値	3,113	2,431	2,266	-	-
		安値	2,166	2,109	2,112	-	-
		平均	2,464	2,253	2,205	1,720	-
		171頭	頭数	117	40	13	1
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,614	1,573	1,482	-
		32頭	頭数	-	4	19	9
	雌 C	平均	-	-	-	1,460	-
		1頭	頭数	-	-	-	1
	去 B	平均	-	1,688	1,598	1,529	-
		32頭	頭数	-	11	14	7
去 C	平均	-	-	1,554	-	-	
	3頭	頭数	-	-	3	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	258 397	889 981	- 178.5	(競り)	(相対)	
				-	18	63

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌 A	高値	2,297	1,757	1,637	1,588	-
	安値	-	-	1,617	1,457	-
和 去 A	高値	2,228	2,221	2,098	-	-
	安値	-	-	-	-	-
乳 雌 B	高値	-	-	-	1,298	1,068
	安値	-	-	-	-	986
乳 去 B	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
交 雌 B	高値	1,773	1,613	1,537	1,470	-
	安値	-	-	-	-	-
交 去 B	高値	1,773	1,675	1,591	1,502	-
	安値	-	1,517	-	1,511	993

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	630	789	705	615	508
	安値	551	508	476	410	292
	平均	569	547	526	500	454
	頭数	(6)	(305)	(363)	(199)	(108)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	-	507	507
	安値	-	-	-	507	507
	平均	-	-	-	507	507
	頭数	(-)	(-)	(-)	(3)	(15)

[大阪食肉卸売市場] 1月22日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,516	2,161	2,002	-	-
(頭数)	(13)	(1)	(1)	(-)	(-)
B	-	2,038	-	-	-
(頭数)	(-)	(2)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,504	2,067	1,953	-	-
(頭数)	(7)	(7)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,669	1,513	1,503	-
C	-	1,513	1,540	1,448	-
交雑去 B	-	1,786	1,571	1,471	-
C	-	1,608	1,514	-	-
豚	-	652	736	458	478

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	1月22日	1月21日	(1月累計)
豚	69,900	70,300	931,300
成牛計	3,810	4,530	57,500
和牛雌	1,010	1,040	13,920
和牛去勢	940	1,320	15,240
乳牛雌	780	710	9,200
乳牛去勢	390	470	5,860
交雑雌	360	460	6,250
交雑去	330	530	7,010

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 1月22日

東京	1,570 円	(前日 1,565 円)
大阪	1,559 円	(前日 1,568 円)

[豚・全農建値] 1月22日

上	中	取引頭数	市況
538 円	511 円	1,189 頭	急落

と畜 売買	牛 47 頭	豚 57 頭	牛概況 弱もちあい
	牛 76 頭	豚 106 頭	豚概況 続伸

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 1月22日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	572 (572)	- (-)	6,193	-	もちあい
仙台 [中]	529 (549)	457 (379)	508	61	反落
栃木 [地]	593 (529)	534 (485)	1,870	81	反発
茨城 [地]	537 (547)	510 (518)	1,480	930	続落
群馬 [地]	519 (492)	438 (410)	2,255	421	反発
さいたま [中]	518 (510)	483 (477)	278	280	反発
東京 [中]	547 (574)	526 (526)	889	981	急落
横浜 [中]	551 (565)	525 (532)	689	690	続落
山梨 [地]	578 (637)	560 (565)	204	181	急落
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	550 (547)	527 (521)	974	314	小戻し
京都 [中]	572 (-)	579 (-)	73	100	もちあい
大阪 [中]	652 (529)	736 (509)	57	106	続伸
神戸 [中]	577 (-)	568 (-)	57	125	-
岡山 [地]	582 (570)	579 (568)	277	355	強気配
広島 [中]	- (550)	- (515)	426	25	-
福岡 [中]	570 (574)	548 (548)	537	224	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 1月15日～1月21日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,962,728 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,112	1,188	1,264	1,193	86,923
うで	739	781	818	783	149,779
ロース	1,080	1,145	1,190	1,139	184,467
ばら	1,188	1,229	1,296	1,225	202,913
もも	734	773	801	767	226,509
ヒレ	1,131	1,162	1,188	1,160	17,401
セット	924	1,016	1,091	1,012	1,094,736

◇近畿圏 総重量 864,346 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,338	1,418	1,321	72,729
うで	680	721	761	728	134,361
ロース	1,080	1,202	1,227	1,182	125,060
ばら	1,173	1,339	1,433	1,326	161,651
もも	691	702	809	718	186,198
ヒレ	1,094	1,150	1,236	1,164	12,611
セット	860	978	1,085	985	171,736

[食鳥正肉日経相場] 1月21日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	749	795	1,050	5
ムネ	464	509	610	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 1月20日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,053	763	550	600	650
安値	700	486	290	360	350
平均	843	547	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる
数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全
日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、
最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510
TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強化にする
今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ
牛枝肉・牛部分肉の見方
牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版
牛枝肉・部分肉の
分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする
食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します